

受注者   郷土・大栄經常建設共同企業体

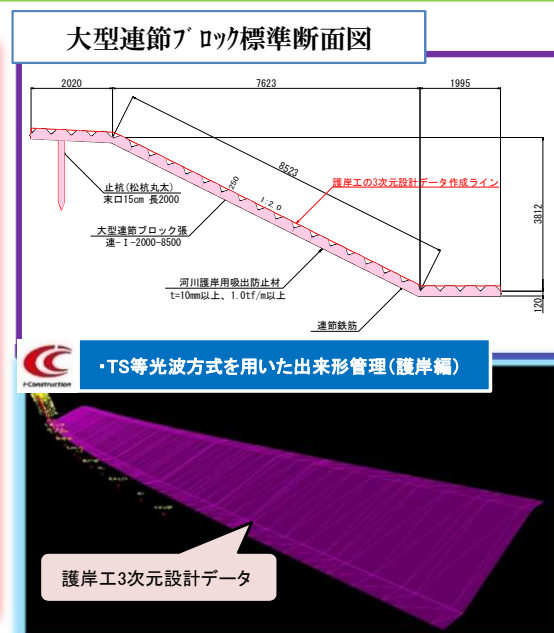
工事概要

・河川土工	1式
・法覆護岸工	1式
・構造物撤去工	1式
・仮設工	1式

R.2.1.22 撮影



現場代理人 藤村



○本工事で施工する大型連節ブロックの標準断面は左図のとおりです。高田大橋の下流側より約120m区間に左図のような断面で左写真の位置に護岸が設置されます。

※ICT活用技術

本工事では、昨年より適用となった技術である『TS等光波方式を用いた出来形管理(護岸編)要領』に基づき、本工事にて施工する大型連節ブロック工において実施します。

内容は、護岸工の3次元設計データを左(3Dビュー)のように作成し、出来形については測点ごとのいわゆるTS出来形測定により管理します。

～ 作業状況 ～

現在、法覆護岸工の掘削作業をおこなっております。2月中旬くらいから護岸工の大型連節ブロックの布設作業をおこないます。また、本工事のメインとなる河道掘削も2月中旬より開始し、末頃よりダンプトラックにて上越火力発電所まで搬出する予定です。ダンプトラックが堤防道路を通行するため、堤防道路ご利用の皆様や近隣の皆様にはご迷惑をおかけしますが、引続きご協力お願い致します。